

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月19日

1. 職名・氏名 准教授・加藤まどか2. 学位 学位 修士、専門分野 社会学、授与機関 東京大学、授与年 1994年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代家族論（2単位）（永平寺キャンパス） 1・2・3年生
②内容・ねらい 現代日本の家族の変化を、歴史的な流れにおいてとらえ、また諸外国での家族の変化の動向のなかでとらえる。家族が変化するなかで、子育てや高齢者介護においてどのような問題が生じているのか解説する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度の授業は、すべて対面で行った。空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で、授業を実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画やDVDを視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見・感想・質問等をLMSに投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代家族論（2単位）（小浜キャンパス） 2・3・4年生
②内容・ねらい 現代日本の家族の変化を、歴史的な流れにおいてとらえ、また諸外国での家族の変化の動向のなかでとらえる。家族が変化するなかで、子育てや高齢者介護においてどのような問題が生じているのか解説する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 小浜キャンパスでの授業だが、これまですべて対面で行った。（最終回 1/26 も対面で実施する予定。）空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で、授業を実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画やDVDを視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見・感想・質問等をLMSに投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。 小浜キャンパスでは、受講者が少なかったこともあり、時間の余裕がある時には、最後に授業の内容についての意見や感想を話す時間を持つなど、双方向で授業を進めることができた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ジェンダー論（2単位） 1・2・3年生
②内容・ねらい 家庭や学校、職場や地域において、性別にもとづいた秩序がどのように形成され、現在どのような形で存在しているのかについて説明する。性別にもとづいた秩序がどのように維持されているのか、またそれを変えていこうとする試みについて紹介する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度の授業は、これまで、すべて対面で行った。（最終回 1/20 も対面で実施する予定。）空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で、授業を実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深め

られるように工夫した。回によっては、動画や DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見・感想・質問等を LMS に投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。

①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等
導入ゼミ (1 単位) 1 年生

②内容・ねらい

子どもの放課後をめぐる状況、学童保育の現状と課題、国や地方自治体の放課後施策について理解を深める。テーマの設定の仕方、資料の集め方、報告のやり方、ディスカッションのやり方、レポートの書き方などの基本事項を学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は対面での授業となり、前半は、放課後の子どもの生活の歴史的な変化や、放課後児童クラブの現状と課題についての解説を行った。その後は、各自が関心のあるテーマについて、資料を集め、主題を絞り込み、問いを展開し、課題を段階的にこなしながら、無理なく報告やレポートをまとめていけるように、ゼミを進めた。それぞれのテーマの報告に際しては、参加者が意見を述べやすいようにし、参加者と報告者とで応答ができるように配慮した。

①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等
社会学 (2 単位) 1・2・3 年生

②内容・ねらい

社会学の歴史を学び、初期の社会学者たちが「社会」をとらえようとした視点について学ぶ。現代日本社会において、生まれ、学び、働き、暮らすというライフコースの過程でかわる可能性がある様々な問題を取り上げ、その背景について解説する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は対面での授業となり、空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で、授業を実施した。資料には、グラフや新聞記事などを取り入れ、理解しやすいように工夫した。回によっては、DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回、受講後には、授業内容への意見・感想・質問等を LMS に投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。

①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等
教養ゼミ (1 単位) 1 年生

②内容・ねらい

子どもの放課後をめぐる状況、子どもの権利、学童保育の現状と課題等について理解を深める。自分の関心のあるテーマについて、資料を集め、文献を読み、考察し報告する方法について学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は、対面での授業となり、前半は、子どもの権利条約と子どもの権利、放課後児童クラブと困難を抱えた子どもへの支援、児童虐待等について、資料をもとに解説をした。また、子どもの権利条約については、参加者を 4 つのグループに分けて、グループワークを行った。グループごとに担当する条文を決め、その内容を具体的な事例にあてはめて考察し、報告し合って理解を深めることができた。

後半は、各自が関心のあるテーマについて報告し、報告後に、皆で質問をしたり、意見を言い合ったりして、学びを深めた。授業終了後に、それぞれの報告へのコメントを LMS 上で投稿してもらい、報告者が、参加者全員からコメントをもらえるように配慮した。

①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等
学術ゼミ E (2 単位) 2・3・4 年生

②内容・ねらい

子どもや高齢者へのケアの仕事の現状と課題を知り、その背景について理解し、自分の意見

を持つことを目標とする。また自分の関心のあるテーマを選んで報告・レポートにまとめていくやり方や、ディスカッションのやり方についても学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は、対面での授業となった。前半は、子育てにかかわる環境の変化、社会的養護、放課後児童クラブでの子どもへのケア、地域での高齢者へのケア等について、資料をもとに説明し、参加者が意見や感想を述べるというやり方で実施した。グラフや表、写真などの詳しい資料を用いて、分かりやすい説明となるように心がけた。

後半は、参加者がそれぞれ関心のあるテーマについて報告し、報告後、互いに意見や感想を述べ合った。参加者同士で意見を言いやすい雰囲気になるように配慮した。

①担当科目名（単位数）

主たる配当年次等

教養特講Ⅰ（研究の世界）（オムニバス）（2単位）

1・2・3年生

②内容・ねらい

オムニバスの授業のなかで、1コマを担当した。「再配分と承認」というテーマで、Nancy Fraser の議論を参照し、社会正義を要求する際の、2つの異なるあり方について解説を行った。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

今年度は対面での授業となった。具体例を多く挙げて説明することで、分かりやすい解説となるように心がけた。

①担当科目名（単位数）

主たる配当年次等

現代人権論（オムニバス）（2単位）

1・2・3年生

（1/23 に実施の予定ですが、年度ベースということなので、記載しておきます。）

②内容・ねらい

オムニバスの授業のなかで、1コマを担当する予定(1/23)。「ケアと人権」というテーマで、ケアの倫理の議論の展開、ケアの危機、ケアに満ちた社会の構想等について、解説を行う予定である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

パワーポイントを使用した解説に加えて、文献の一部のコピーを配布するなどして、分かりやすい説明となるようにしたい。

(2)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績 ・書評（鈴木瞬著『子どもの放課後支援の社会学』）、単著、2022、『学童保育（日本学童保育学会機関誌）』第12巻(日本学童保育学会)pp.97-98	【 1本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

①-2 委員就任(県)

- ・福井県人権施策推進審議会委員、人権施策の推進のための基本方針の調査審議および人権施策の実施状況に関する調査審議、H16～現在に至る
- ・福井県公害審査会委員、公害に係る紛争についての斡旋・調停・仲裁、H19～現在に至る
- ・福井県社会福祉審議会委員、社会福祉に関する事項の調査・審議、H22.4～現在に至る
- ・福井県私立学校審議会委員、私立学校・私立専修学校・私立各種学校に関する重要事項について知事に建議、R1.12～現在に至る
- ・福井県防災会議委員、福井県地域防災計画等の審議、R4.6～現在に至る
- ・「社員ファーストアワード」検討会委員、表彰に係る選考基準の検討や助言等、R4.8～R5.1

①-3 委員就任(市町村)

- ・福井市男女共同参画審議会委員、基本計画及び男女共同参画の推進に関する重要事項についての調査・審議、H22～現在に至る

①-4 委員就任(その他公益法人等)

- ・福井県立歴史博物館運営協議会委員、福井県立歴史博物館の運営の審議、H26～現在に至る

⑥外国人留学生(長期研修員)向けの講座の開講

- ・JICA 北陸主催「地域理解プログラム」・(プログラム中の1セッションの講師)、「ジェンダー平等に向けてー日本と各国の現状は?ー」、オンライン開催、2022年3月17日

⑥社会人向けの講座の開講

- ・公益財団法人ふくい女性財団主催「男女共同参画学習事業 男女パートナーシップ推進コース 地域連携講座」講師、「男女共同参画における家族の在り方について」、勝山教育会館(勝山市)、2022年11月28日

⑦その他

- ・令和4年度・福井県母子寡婦福祉大会・シンポジウム(「すべての子どもに安心と希望を!」「母子と寡婦、共に育む子どもの未来」)・助言者として参加、福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)、2022年12月4日

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- 学生支援委員会 R3.4～現在に至る
ハラスメント等人権問題に関する委員会・相談員 R3.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など